

CSR

Corporate Social Responsibility

「企業の社会的責任」

株式会社オオキ CSRレポート / 2021

我々が扱う包装資材は、素材・品質・デザイン・内容表示によって売れ行きに影響を与える中身の実効性を持ちながら、残念なことに使用後は“ゴミ”になってしまいます。そして、環境・安全・安心といった面での社会的要求も満たさなければなりません。特に石化原料を主原料にしている包装資材は、近年の環境問題とは常に向き合うべく位置にあります。包装資材業としてSDGsの掲げる持続可能な開発目標を達成するため、更には従来進めてきた『エコアクション21』認定取得企業として、環境(Enviroment)や社会(Social)への配慮と、企業統治(Governance)の向上を重視した環境経営を進めるためにも、『包装資材とSDGs』、並びに『社会生活とSDGs』による株式会社オオキSDGs活動宣言を行ない、日々の行動の集約をCSRレポートにまとめて社内外に発信する必要があります。

これらを推し進める会社と社員の行動基準は

“環境を価値に。社会課題に迫る行動力が革新を生む”としました。



目次

表紙（あいさつ）	1
目次	2
事業概要・事業内容	3
環境対応の歩み（年表）	4～5
75期（株）オオキ SDG s活動宣言	6～7
エコアクション21の環境方針	8
エコアクション21の取り組み	9～12
SDG s活動宣言	13
オオキの強み 情報処理	14
社会貢献	15
環境保全	16
物流効率化	17
食品ロスの確認	18
働き方改革	19
社員一人ひとりが進める「SDGs 活動」	20
社員一人ひとりが進める「SDGs 活動」振り返り 社員の声	21
わが社の SDGs 地元新聞に掲載	22
包装資材と SDGs	23
環境対応推奨商品 プラスチック容器	24
紙製容器・紙ストロー・C-PLA カトラリー	25
袋	26
紙製品	27
機械類	28
ラベル	29
衛生商品	30
プラスチック包装資材の有用性	31
社会生活と SDGs	32
守る会のケーキ	33
エコアクション21	34
社内ゴミの分別	35
食品トレー回収で環境型リサイクル	36
防災訓練	37
環境対応商品の販売	38
HACCP の情報発信とサポート	39
職場体験	40
障害者就労支援施設への梱包、箱折等の内職依頼による雇用の創出	41
フードバンク山梨への協賛、寄付による貧困支援、食品廃棄の減少	42
経営者による見直し・次年度に繋がる活動（テーマ）	43

事業概要

事業者名	株式会社 オオキ
代表者	代表取締役社長 大木 賢太郎
設立	1947年4月1日
資本金	1,500万円
従業員数	65名
敷地面積	本部及びパッケージプラザ田富店 3801.45㎡
所在地	中央店 222.43㎡ 市場店 240.9㎡
	本部・パッケージプラザ田富店
	〒409-3845
	山梨県中央市山之神流通団地1丁目3番2号
	電話 055-273-6644（大代表）
	FAX 055-273-1248
	市場店
	〒400-0043
	山梨県甲府市国母6丁目6番4号
	電話 055-228-1663
	FAX 055-228-1662
	パッケージプラザ中央店
	〒400-0032
	山梨県甲府市中央2丁目12番10号
	電話 055-233-0221

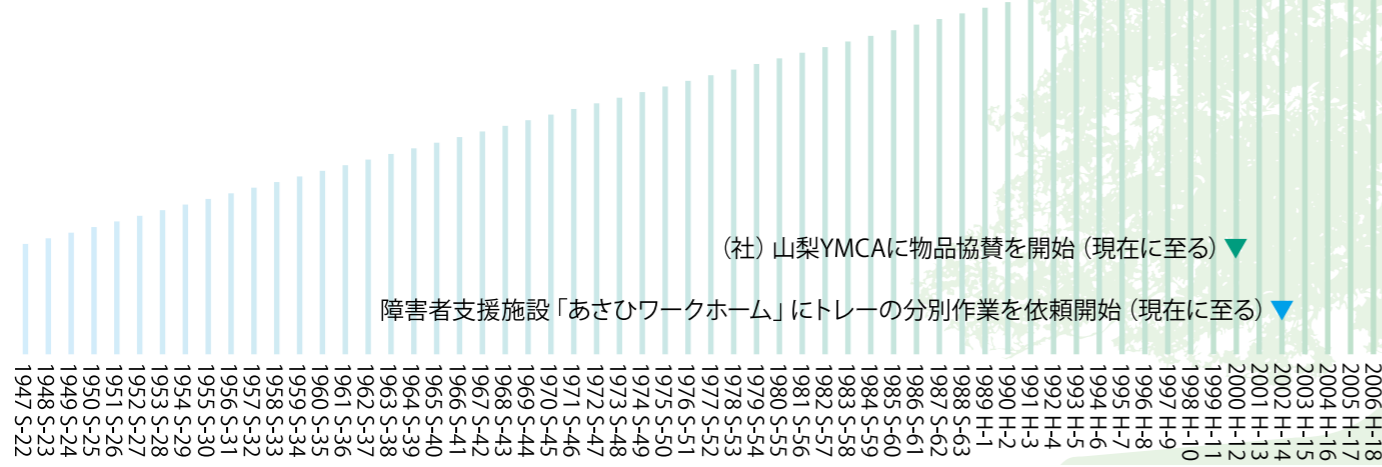
事業内容

- 包装資材・包装機械・事務機器・物流機器・省力化自動機器の設計・製作及び販売
- 包装資材の加工
- 海外商品の輸入及び販売
- 衛生環境維持のためのメンテナンスツール販売
- 穀物・野菜などの加工品の販売



環境対応の歩み

包装資材を天職として、いかなる時、いかなる場所、いかなる状況においても、常にお客様の感動・感激を中心に、安全で、清潔で、新鮮で、便利で、安価で、スマートで、環境にやさしい包装資材をお客様の都合に合わせて提供する。更に、従来より培った技術や関連事業に新たな情報を付加し、「ものづくりの入り口から出口まで」というコンセプトを基に、環境対応や、安全性、そして衛生性をも含めたマクロ的視点での企業活動を具体的に進め、「ものづくりの入り口から出口まで」「モノづくり応援業」による地域貢献と業態開発を目指しています。



- ▼11月 環境対応室は『OEV企画室』に組織変
- ▼7月 エコアクション21の認定・取得
- ▼6月 環境対応室を立ち上げ



7月 環境開発室とSDGs推進隊を立ち上げ
7月 SDGs活動宣言を発表
障害者就労支援施設に梱包や箱折などの作業を積極的に発注

エコアクション21認定取得

2019年7月「モノづくり応援誌」発行開始 (2021年6月まで継続)

4月 環境活動優秀企業として表彰授与

7月「4(フォー)エントランスシーズ」を立ち上げ
フードバンク山梨へ協賛の寄付スタート

2021 R-3

経営計画の歩み

1947 紙類の小売業を開店
1954 八日町に移転有限会社大木紙店設立



1974 株式会社オオキに組織変更

1987 クリーン＆フレッシュ「レモンズ」を開業。

1997 燃える社風の再生産 新たな企業文化の創造

2017年 創業70周年 新たな歴史創造

2022年 創業75周年 ものづくり応援業

50 株式会社オオキ 創業50周年 ものづくり応援業 「モノづくりの入り口から出口まで」 企業理念推進スタート

企業理念 店は客のためにあり社員と共に栄える

喜阿彌いよゑん 歓迎

社会の動き



会社の歩み

1967年第2回 パッケージフェア開催、現在まで継続

1977年 山梨県流通団地に移転

1978年～1988年中華人民共和国黒龍江省伊春市に日中友好割着工場開設

1998年 パッケージプラザ田富店開店

2000年 パッケージプラザ中央店開店



環境を価値に社会課題の解決に迫る 行動力が革新を生む

株式会社オオキと社員は包装資材業としてSDGs(持続可能な開発目標)の達成のために、会社と個々社員が明確に目的を持ち、1年間かけての成果をCSRレポートに反映させることを宣言する。

株式会社オオキは、「包装資材業者」として、「SDGs」の達成へ貢献するために「エコアクション21(環境経営)」を通して、環境(E)や社会(S)への配慮、(企業統治の向上(G))を重視した企業活動、企業価値の拡大を行います。

CSRレポートの作成(可視化)

- 「ESG」とは
- 環境 (Environment)
 - ・CO2排出量の削減
 - ・廃水による水質汚染の改善
 - ・海洋中のマイクロプラスチック対策
 - ・再生エネルギーの使用
 - ・生物多様性の確保
 - 社会 (Social)
 - ・適正な労働条件
 - ・男女平等など職場の人権対策(可視化)
 - ・ダイバーシティ(多様性)
 - ・ワークライフバランス(仕事と生活の調和)
 - ・児童労働問題
 - ・地域社会への貢献
 - ガバナンス (Governance)
 - ・業績悪化に直結するような不祥事の回避
 - ・リスク管理のための情報開示
 - ・法令順守
 - ・資本効率に対する意識の高さ

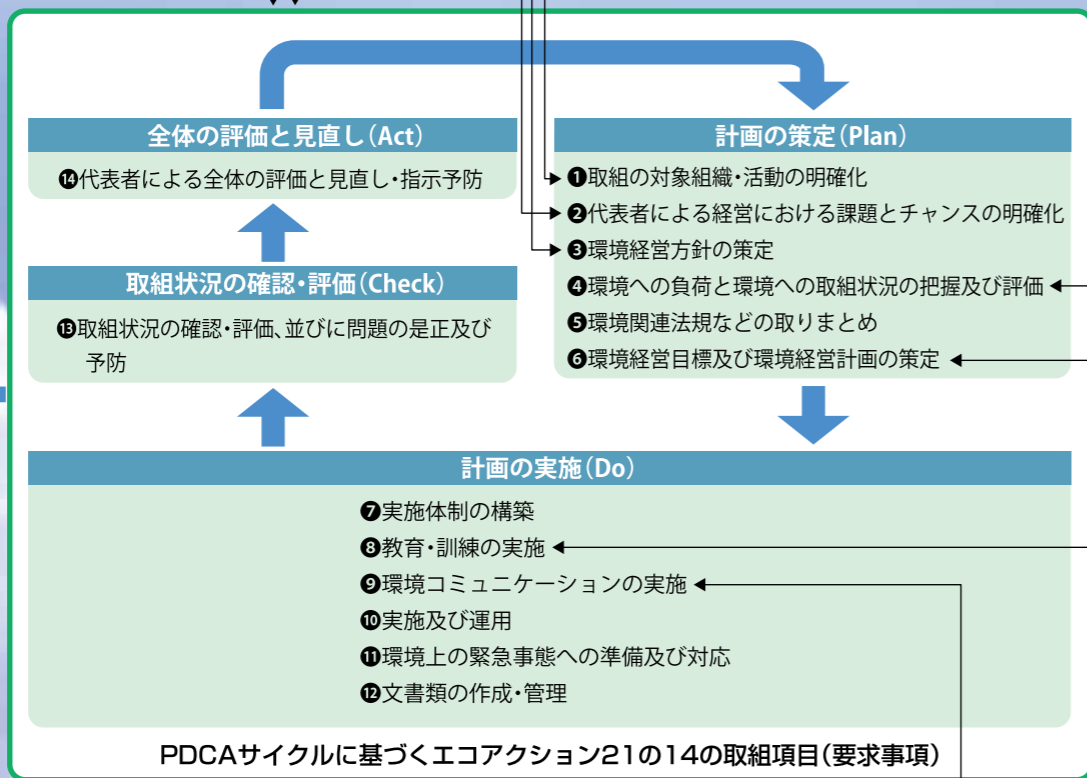
① 当社事業の明確化

※マネジメントシステムの運用が経営力、組織力の向上につながる(PDCAを回して継続的改善)



② SDGsも経営の課題とチャンスと捉える
 75期経営方針に掲示

③ 環境経営方針にSDGsの周知・普及に努める旨について明記することも一案

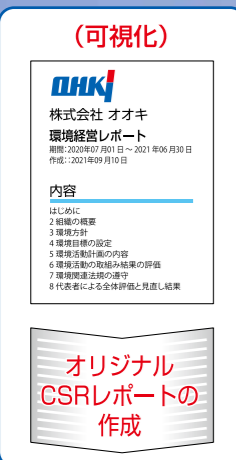


※PDCAを回して継続的改善を行い企業価値を向上(経済成長)

⑨ エコアクション21計数管理の進捗状況の報告と啓蒙活動推進
 ・ホームページを通じての外部発信

(Do) 自社内だけでなく、顧客、協力会社、地域社会、家庭を考慮した活動を行う

※環境経営レポートの公開により、組織の取組みを広く周知(企業価値のアピール)



※組織として取組んだ結果や成果を可視化(継続的改善につながる)

(株)オオキの未来志向 (包装資材とSDGs)

株式会社オオキは包装資材の近未来について真剣に取り組めます。

- ① 廃プラ・海洋プラのごみ問題についての情報発信
- ② 4R(リフューズ・リユース・リデュース・リサイクル)の推進
- ③ プラスチック食品容器の機能と役割について情報発信
- ④ 高機能包装資材の販売促進
- ⑤ ライフスタイルの変化・食の変化に最適な容器提案

(株)オオキ社員の未来志向 (社会生活とSDGs)

持続可能な社会のため、
 従来の生活を見直します。

- ### エコアクション21 計数管理
- ④ 環境負荷の把握
 - ・二酸化炭素排出量
 - ・廃棄物排出量
 - ・水使用量
 - ・化学物質使用量
 - (①~⑤を考慮した)
 - ⑥ 環境目標の設定
 - ・二酸化炭素排出量の削減
 - ・廃棄物排出量の削減
 - ・水使用量の削減
 - ・化学物質使用量の削減
 - ・自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善(機能性包装資材情報収集、SNSによる情報発信など)
 - ⑦ 効果的で必要十分な実施体制の構築
 - ・全従業員がエコアクション21(環境経営)の実施体制及び自らの役割を理解する
 - ⑧ 全従業員を対象とした教育・訓練
 - ・加えて、環境に関する特定の業務がある場合は、特定教育・訓練

- 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
 - ・トレー回収と適正なリサイクルの推進及び情報の発信
 - ・バイオマスプラスチック商品の販売促進
- 8 働きがいも経済成長も
 - ・プラスチック容器包材の有用性のアピール
 - ・使用用途に応じた高機能包装資材の販売促進
- 11 住み続けられるまちづくりを
 - ・河川清掃・構内清掃・環境活動の実施と社外へのアピール
 - ・エコカーの推進による、化石燃料の使用量削減
- 12 つくる責任 つかう責任
 - ・新食品表示法完全実施
 - ・HACCPの情報発信とサポート
 - ・機能性包装資材の収集と販売
 - ・食品衛生法改正に伴うポジティブリストの情報収集と内容開示
- 14 海の豊かさを守ろう
 - ・トレー回収と適正なリサイクルの推進及び情報の発信
 - ・河川清掃・構内清掃・環境活動の実施と社外へのアピール
- 15 陸の豊かさも守ろう
 - ・トレー回収と適正なリサイクルの推進及び情報の発信
 - ・木質製品の販売促進

■環境経営方針

基本理念

株式会社オオキは、会社の発展と環境保全の相互追及を基本理念とし、社員一人ひとりが常に環境のあり方に目を向け、環境との調和を目指します。

基本方針

● 環境との共存

環境との共存を図るため、環境活動を実践し継続的改善を図ります。

● 環境に配慮した活動の推進

環境目標及び環境活動計画を策定し次の事項に取り組みます。

- ① 環境にやさしい製品の開発と販売の促進
- ② 電力エネルギーの節約
- ③ エコドライブの推進
- ④ 紙類のリサイクルと節約
- ⑤ 水道水の節約

● 地域における環境保全活動の推進

- ① 社屋周辺付近の清掃活動を実施します
- ② 河川・緑地の保護を実践します

● 環境教育の推進

環境に対する正しい知識を習得するために積極的に研修会に参加します。また、社内においても研修会を開催いたします。

● 環境関連法例の遵守

環境関連法例及び当社が同意した要求事項を遵守し環境保全に努めます。

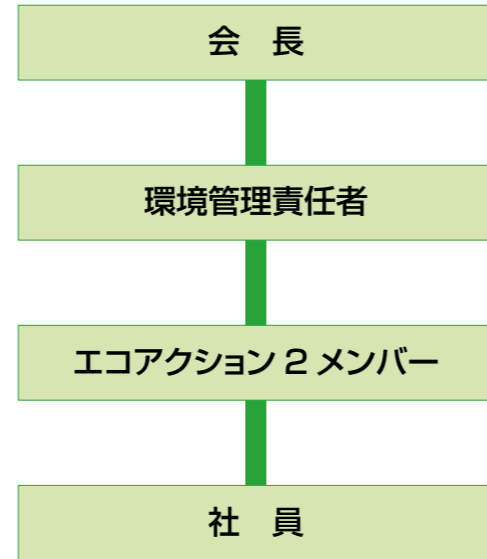
● 環境方針の公表

この環境方針は、全社員に周知し、社外にも公表します。

2017年7月1日

株式会社 オオキ 代表取締役会長 大木 勝志

■実施体制



① 会長（代表者）

環境経営方針を策定し、全社員に周知させると共に環境への取り組みを適切に実行するための資源の提供を行う。また、環境管理責任者を任命し、エコアクション21会議において環境マネジメントシステムの見直しを行う。

② 環境管理責任者

代表者に代わってガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムの構築・運用に責任を持つと共に必要な権限を持つ、またその状況を会長に報告する義務を負う。

③ エコアクション21メンバー

環境管理責任者を補佐し、環境目標、環境活動計画を策定し社内に周知させ環境経営方針の指導展開を行う。活動の実施結果は環境管理責任者に報告する義務を負う。

④ 社員

環境方針及び目標の達成に向けて環境活動計画を基に実務業務を遂行すると共に所定の報告、緊急時の報告義務を負う。

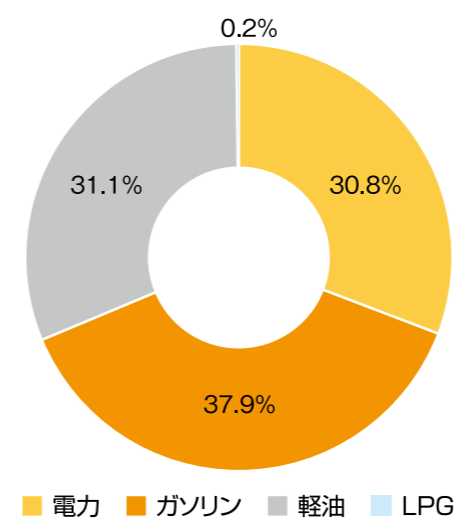
■環境経営目標

目標項目	実施事項	
環境に配慮した活動の推進		
(本業に関する目標)	①環境にやさしい製品の開発と販売の促進	高機能な包装資材の情報収集とその広報活動の実施
(二酸化炭素排出量削減)	②電気エネルギーの節約	電力使用量削減
	③エコドライブの推進	社用車1台あたりのガソリン使用量削減
		社用車1台あたりの軽油使用量削減
	(LPG)	(使用量維持)
(廃棄物排出量削減)	④紙類のリサイクルと節約	コピー用紙使用量削減
総排水量削減	⑤水道水の節約	使用量削減
【地域における環境保全活動の推進】		
(社会貢献)	①社屋周辺の清掃活動の実施	月一回実施
	②河川清掃の実施年三回実施	年三回実施

(目標期間:2020.7.1~2021.6.30)

環境経営方針を実現するために、「環境に配慮した活動の推進」と「地域における環境保全活動の推進」それぞれのテーマに沿った環境経営目標（目標項目、実施事項）を設定して、活動をおこなっています。

■二酸化炭素発生源の構成



二酸化炭素発生源の構成表

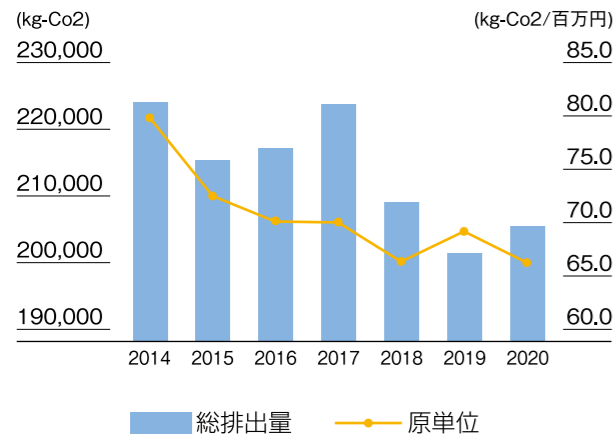
項目	割合
電力	30.8%
ガソリン	37.9%
軽油	31.1%
LPG	0.2%

(対象期間:2020.7.1~2021.6.30)

化石燃料（ガソリン、軽油）が約7割を占めており、電力が約3割となっています。

ガソリンは主に営業用車両での使用、軽油は主に運搬用車両での使用であり、電力は主に事務所、倉庫および店舗となっています。※LPGは給湯用のみ

■二酸化炭素の総排出量と原単位 (総排出量/売上)



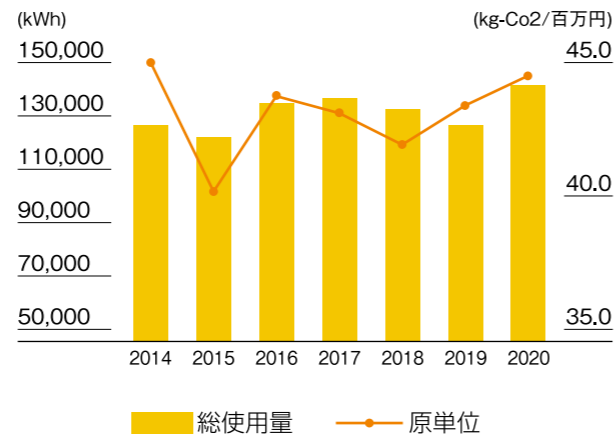
年度	総排出量 (kg-Co2)	原単位 (kg-Co2/百万円)
2014	224,370	79.8
2015	215,969	72.6
2016	217,389	70.6
2017	223,906	70.2
2018	209,517	66.6
2019	201,710	68.6
2020	205,556	66.8

(対象期間:2014.7.1~2021.6.30)

業績が好調であった2017年度の総排出量を除き、二酸化炭素の排出量は総排出量、原単位ともに着実に削減が進んでおり、エコアクション21への取り組みの成果が結果として表れています。



■電力の総使用量と原単位 (総使用量/売上)



年度	総使用量 (kWh)	原単位 (kWh/百万円)
2014	126,554	45.0
2015	120,988	40.7
2016	133,622	43.4
2017	136,267	42.7
2018	131,878	41.9
2019	126,423	43.0
2020	136,959	44.5

(対象期間:2014.7.1~2021.6.30)

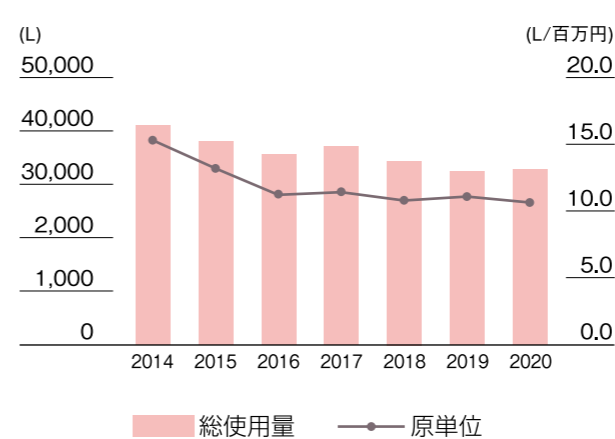
エコアクション21の取り組みにより、ほぼ横ばいにて維持できていますが、2019年度後半以降コロナ感染対策に伴う換気しながらの空調使用に起因して、電力使用量は増加傾向となっています。

電力に係わる環境活動計画

目的	環境に配慮した活動の推進/二酸化炭素排出量削減
目標	電気エネルギーの節約/電力消費量削減
活動の計画	①エアコン類について 室内温度の調整を徹底します。 (夏季28℃、冬季22℃の設定) ②室内灯について 昼時間の留守中の消灯ルールを決める。 ③パソコン類について:OA機器買い替え時期には省エネ製品への切り替えを検討する。

(対象期間:2020.7.1~2021.6.30)

■ガソリンの総使用量と原単位 (総使用量/売上)



年度	総使用量 (L)	原単位 (L/百万円)
2014	41,349	14.7
2015	38,036	12.8
2016	34,569	11.2
2017	37,684	11.8
2018	34,380	10.9
2019	33,257	11.3
2020	33,533	10.9

(対象期間:2014.7.1~2021.6.30)

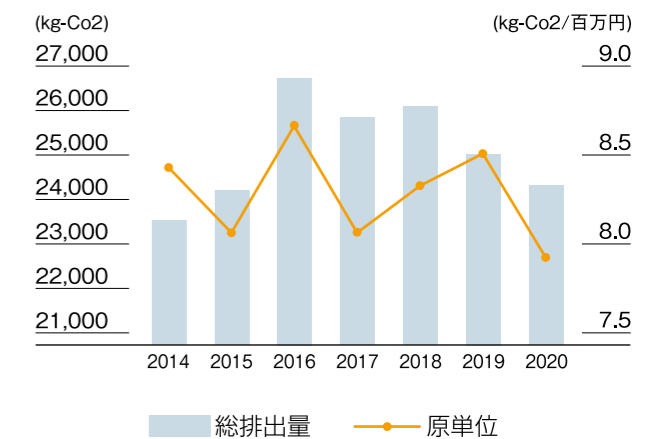
業績が好調であった2017年度の総使用量を除き、ガソリンの使用量は総使用量、原単位ともに着実に削減が進んでおり、エコアクション21への取り組みの成果が結果として表れています。

ガソリンに係わる環境活動計画

目的	環境に配慮した活動の推進/二酸化炭素排出量削減
目標	エコドライブの推進/社用車1台あたりのガソリン使用量削減
活動の計画	①エコドライブ10箇条の提示によるエコドライブ意識の徹底 ②車輛の見直し、入れ替え計画・実施 ③自社物流量の増加、自社物流増による目標・計画数値見直し検討の必要あり。

(対象期間:2020.7.1~2021.6.30)

■軽油の総使用量と原単位 (総使用量/売上)



年度	総使用量 (L)	原単位 (L/百万円)
2014	23,533	8.4
2015	24,176	8.1
2016	26,755	8.7
2017	25,896	8.1
2018	26,072	8.3
2019	25,004	8.5
2020	24,389	7.9

(対象期間:2014.7.1~2021.6.30)

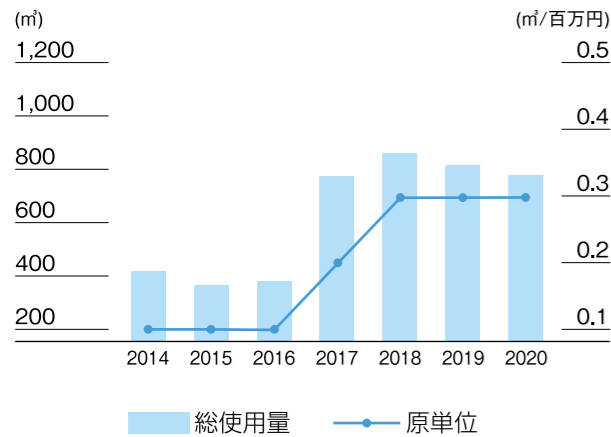
エコアクション21の取り組みにより、ほぼ横ばいにて維持できています。2019年度にガソリン車への入替えをおこなったことに起因して、2020年度使用量は総使用量、原単位ともに削減されました。

軽油に係わる環境活動計画

目的	環境に配慮した活動の推進/二酸化炭素排出量削減
目標	エコドライブの推進/社用車1台あたりの軽油使用量削減
活動の計画	①エコドライブ10箇条の提示によるエコドライブ意識の徹底 ②車輛の見直し、入れ替え計画・実施 ③自社物流量の増加、自社物流増による目標・計画数値見直し検討の必要あり。

(対象期間:2020.7.1~2021.6.30)

■水の総使用量と原単位 (総使用量/売上)



年度	総使用量 (m³)	原単位 (m³/百万円)
2014	409	0.1
2015	381	0.1
2016	394	0.1
2017	787	0.2
2018	857	0.3
2019	808	0.3
2020	786	0.3

(対象期間:2014.7.1~2021.6.30)

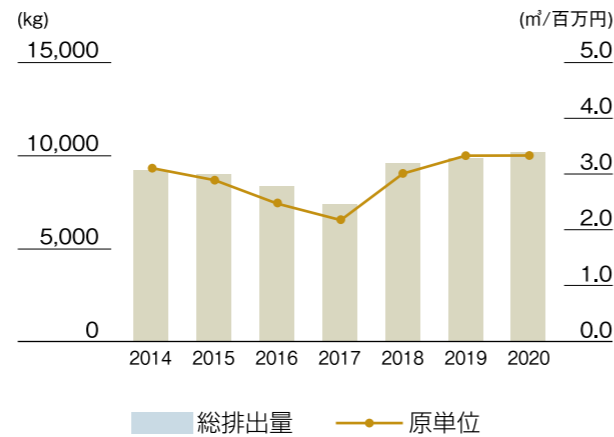
エコアクション21の取り組みにより、総使用量、原単位ともにほぼ横ばいに維持できています。
(2017年度より中央店も集計対象としている)

水に係わる環境活動計画

目的	環境に配慮した活動の推進/総排水量削減
目標	水道水の節約/使用量削減
活動の計画	①用途別水の使用量を把握し、その削減対策を実施する。但し、生活用水(手洗い用水等)については、蛇口に節水表示等により、節水を励行する。 ②推進POPの作成し社員に呼びかける。

(対象期間:2020.7.1~2021.6.30)

■一般廃棄物の総排出量と原単位 (総排出量/売上)



年度	総排出量 (kg)	原単位 (kg/百万円)
2014	8,750	3.1
2015	8,640	2.9
2016	7,762	2.5
2017	6,703	2.1
2018	8,956	2.8
2019	9,579	3.3
2020	10,103	3.3

(対象期間:2014.7.1~2021.6.30)

2017年度以降増加傾向にあるものの、エコアクション21の取り組みにより、ほぼ横ばいに維持できています。

一般廃棄物に係わる環境活動内容

目的	環境に配慮した活動の推進/廃棄物排出量削減
目標	紙のリサイクルと節約/廃棄物排出量削減
活動の計画	①コピー用紙の裏面の積極的な活用を行う。(POP等による呼びかけ) ②社内外メール等によるデータ通信の活用促進によりコピー用紙の削減 ③複合機の機能を活用した紙削減(オンラインFAX送信など)

(対象期間:2020.7.1~2021.6.30)



2022年株式会社オオキ SDGs 活動宣言



株式会社オオキと社員は

包装資材業としてSDGs(持続可能な開発目標)

の達成のために

会社と個々社員が明確に目的を持ち

1年間かけての成果をCSRレポートに

反映させることを宣言する。

● 4R (リフューズ・リユース・リデュース・リサイクル) の推進と情報発信

ごみを減らすためには、社員のごみを減らす意識が最も大切です。
必要以上にものを買ったり、まだ使えそうなものを捨てたりしているかも？
ごみを減らす「4R」を心がけて、環境にやさしい、無駄のない企業を目指します。



文具用品節約ロッカー

● メーカー様、商社様からの最新情報入手と発信 ※ 38・39ページ参照



● ライフスタイルの変化、食の変化について情報発信



● 防災訓練の実施 ※ 37 ページ参照

非常時を想定した、避難訓練や放水訓練を定期的を実施。



● 職場体験 ※ 40 ページ参照



地域の小学生を対象とした、職場見学・包装資材の情報発信

● フードバンク山梨への協賛、寄付による貧困支援、食品廃棄の減少 ※ 42 ページ参照

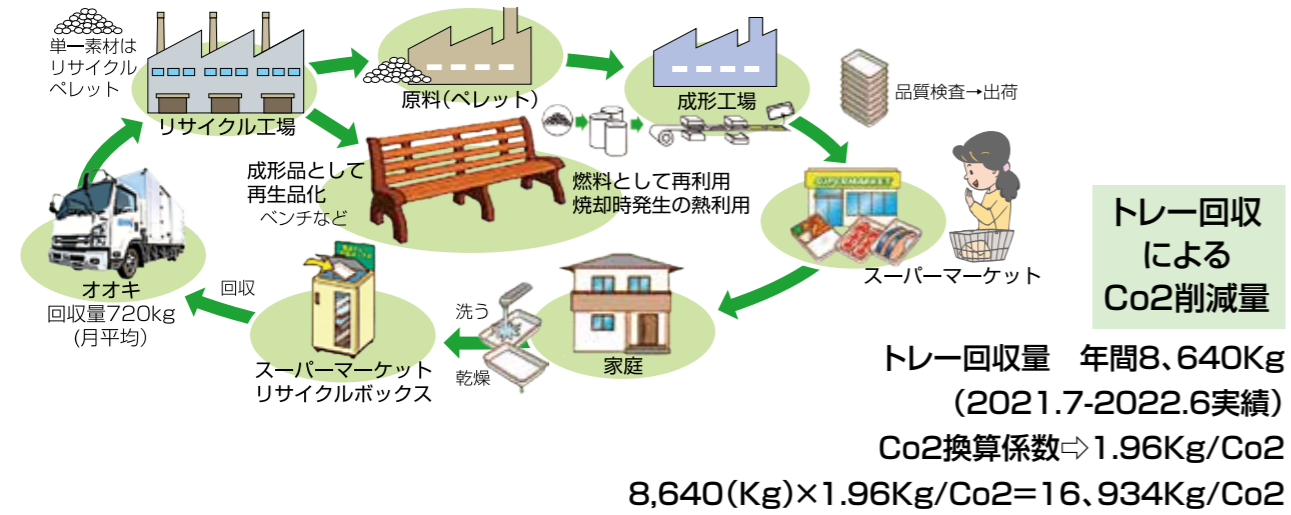
フードバンク山梨の活動に共感し、社内に支援の呼びかけ

受付中の食品



● プラスチック容器回収とリサイクルの推進 ※36 ページ参照

弊社、物流部門による納入先からの使用済食品トレーなどの回収。



● 構内清掃・河川清掃の実施



● エコアクション21の推進 (節電・節水・ペーパーレス化) ※34ページ参照



● 物流作業の効率化

後補充方式の運用とハンディーによる入出庫業務の改善活動



● トラック輸送の効率化

保有車の円滑な運用



● エコドライブの推進

エコドライブの推進・エコカーの導入などの取り組みを進めています。



● 高機能包装資材の情報収集と販売促進 ※23~31 ページ参照

使ったらゴミになってしまう包装資材をエコ製品へ置き換え



● ライフスタイルの変化、食の変化に最適な容器提案

テイクアウト容器や環境対応素材容器をスピーディーにご提案!



中身の開発から商品化へのサポート



● 業務の効率化による労働生産性の向上

Web商談やWeb会議などの推進



● 喜ばれる悦びによる喜び

喜ばれる悦びによる喜び

お客様、地域、社会に喜んでいただく
それぞれのよろこびを自らの悦びとする

2つの「よろこび」が会社と個人の喜び（発展）につながる

オオキ流の働き方改革は、社会と個人が『喜ばれる悦びによる喜び』による歓喜へと繋がるプロセスにおいて、『仕事のやり方を変えて、楽でない仕事を楽しく』です。『楽しく』とは、仕事を通じて自分を磨いている状態のことです。

オオキ社員 一人ひとりが 進める SDGs 活動



持続可能な開発目標

役員

- SDGsの推進を推進する
- SDGsの推進を推進する
- SDGsの推進を推進する
- SDGsの推進を推進する

部長

- SDGsの推進を推進する
- SDGsの推進を推進する
- SDGsの推進を推進する
- SDGsの推進を推進する

課長

- SDGsの推進を推進する
- SDGsの推進を推進する
- SDGsの推進を推進する
- SDGsの推進を推進する

社員

- SDGsの推進を推進する
- SDGsの推進を推進する
- SDGsの推進を推進する
- SDGsの推進を推進する

SDGsの推進を推進する

社員一人ひとりが進める「SDGs 活動」 振り返り 社員の声

マイバックの使用

最初は、買い物時持ってくることを忘れることも多かったが、最近では普段持ち歩くバックの中や車の中に常備するようになりました。

エコドライブ

通勤に車を使用しているが、自転車での通勤を心掛けました。車に乗る時は、エコドライブとアイドリングストップを実践しています。

食品ロスの削減

地域の食材を意識して購入するようになりました。賞味期限の短いものを率先して購入しました。“たまえどり”の実践！食事のメニューを工夫して、食材を使い切ることを意識し実践した。

ゴミの分別

家庭でもゴミの分別を実践するようになった。食品トレー、ペットボトル、ダンボールをリサイクルステーションへ持ち込む事が習慣化した。家庭から出る可燃ごみの量がリサイクルを意識する事で減少した。

水道水の節水

水を意識するようになった。お風呂の残り湯を洗濯時利用、食器洗いに洗い桶の水を利用、雨水をポリタンクなどに貯め水まきなどに利用。

ペーパーレスの取組

PC FAXの活用によりコピー用紙の削減。エコ通帳、電子レシートの利用でペーパーレスを達成。デジタル会員証の利用でプラスチック（カード）の削減。

SDGsを知る

SDGsを意識し行動するようになった。(地域貢献、献血など) 家族でリユースに取り組んでいます。(捨ててしまうのではなく使いまわす!) 必要以上に購入しない。(ゴミの削減につながった)



当社の「SDGs活動」が地元新聞(山梨日日新聞)に2022年6月28日に掲載されました。

(7) 経済 2版 (第三種郵便物認可)

わが社のSDGs

【44】

オオキ

目標: つくる責任 つかう責任

食品トレー 資源循環

包装資材業のオオキ(本部・中央市流通団地1丁目)の倉庫。一角に、ビニール袋に入れられた使用済みの食品トレーが積み重ねられていた。従業員の一は「汚れがあるとほじかれてしまう。分別がなかなか大変で...」とつぶやき、トレーの山を整理していた。

同社は県内のスーパーや障害者福祉施設と連携し、回収した食品トレーを再びトレーにリサイクルする取り組みを進めている。国連が提唱する持続可能な

開発目標(SDGs)のうち「つくる責任 つかう責任」を、リサイクルするトレーは、果てしなく循環に貢献して、内のスーパー2店のリサイクルボックスで収集。オオキが回収するトレーは、食品容器製造メーカー「エフコニ(広島県)」に加工を依頼して再びトレーとして流通させる。協力スーパーに卸す全てのトレーも再生トレーに切り替えた。

同社によると、トレーの回収量は連休後などに多かったが、新型コロナウイルス禍の内食需要に伴ってさらに増加。最近の1カ月の回収量は80袋以上、計300*近くに上る。トレーを再資源化することで焼却ごみを減らすだけでなく、新たにトレーを作る場合と比べて製造工程の二酸化炭素(CO₂)排出量を30%削減できるとい

回収したトレーには加工できない汚れや異素材が混入している場合があり、分別作業を障害者支援施設に委託する事業にも取り組む。「回収量が増えれば雇用創出や自立支援を後押しできる」と同社。こうした取り組みや環境対応商品を紹介する情報を定期的に発行し、取引先への普及啓発にも努めている。

同社は2008年に、環境に

大木賢太郎社長は「取引先に最適な包装資材を届ける事業者の責務として、持続可能な社会づくりの一端を担っていきたい」と話している。(主守彩)

※次回7月5日に掲載します。

※中央市流通団地1丁目

※本所所在地 中央市流通団地1丁目

【代表者】大木賢太郎
【沿革】1947年に創業。54年に法人化して大木紙店を設立。67年に「オオキ」に社名変更した。77年に県流通団地に本部を開設。現在「パッケージシラサ」などの店舗を展開する。

メモ

SDG MEDIA COMPACT

環境対応推奨商品 (SDGs)

包装資材とSDGs

「株式会社オオキは、包装資材の近未来について真剣に取り組めます」
使ったらゴミになってしまう包装資材をエコ製品に置き換え



環境対応推奨商品

プラスチック容器	24
紙製容器・紙ストロー・C-PLA カトラリー	25
袋	26
紙製品	27
機械類	28
ラベル	29
衛生用品	30



環境対応推奨商品 (SDGs)

プラスチック容器

奨商品(SDGs)	商品特徴	SDGs目標	商品紹介
エコトレー	発砲スチロールの製の食品トレイ。保湿性、断熱性に優れ、汎用性のある製品。精肉や魚などによく使われています。回収された使用済みトレイの中で発砲トレイを白と色・柄で選別、又は透明容器の素材で選別しペレットなどの原材料にして容器を成形しています。	12 13 14 15	
エコ APET	耐油性、透明性が特徴の製品。寿司容器・刺身容器・その他食品用の透明容器の蓋などで多用されています。回収された PET ボトルを素材別で選別しペレットなどの原材料にして容器を成形します。	12 13 14 15	
エコ OPET	耐油性、透明性があり、80℃耐熱性と耐寒性もある製品。電子レンジ対応容器の蓋として多用されています。回収された PET ボトルを素材別で選別しペレットなどの原材料にして容器を成形します。	12 13 14 15	

環境対応推奨商品 (SDGs) 紙製容器・紙ストロー・C-PLA カトラリー

奨商品(SDGs)	商品特徴	SDGs目標	商品紹介
バガスモールド	サトウキビの搾りカス「バガス」再利用。バガスを紙原料として使用することにより木材の使用量を減らす事が出来る為、森林保護に繋がります。生分解性によるゴミの減量…土の中に埋めると微生物などによって分解され自然に土に還ります。Co2の削減、温暖化防止…可燃物とし燃やすとサトウキビが成長過程で吸収した Co2が大気に戻りプラスマイナスゼロ(カーボンニュートラル)となり Co2削減、温暖化防止。	13 15	
C-PLA カトラリーシリーズ	トウモロコシなどの植物のでんぷんから出来るバイオプラスチックの一種。従来のカトラリーに比べ、より環境に優しく、二酸化炭素排出量も少なくなっています。	13 15	
紙ストロー PLA ストロー	エコな紙素材を採用し、衛生基準を満たしており安全にご利用いただけます。 植物由来のポリ乳酸を原料にした環境に配慮したストロー。石油資源の消費を減らすことができ、焼却時に発生する二酸化炭素は、植物の発生時に吸収する量と同じ位なので地球環境への負担が少ないのが特徴です。	13 15	
リサイクル PET カップ	リサイクル PET を40%使用しています。R-PETは生産から廃棄までのCo2排出量を、通常品に比べて25%削減することができます。	13 14	
モールド容器	バガスモールドに PLA(生分解) ラミネート加工をし Co2の削減、温暖化防止。	13 15	

環境対応推奨商品 (SDGs)

袋

奨商品(SDGs)	商品特徴	SDGs目標	商品紹介
バイオレフィン®H レジ袋関連	石油資源の節約、Co2排出量削減を目的として、「バイオレフィン 25H」シリーズ持ち帰り袋をラインアップしました。この商品はバイオプラスチック協会から「バイオマスプラマーク」、日本有機資源協会から「バイオマスマーク」認定を受けています。	13 気候変動に具体的な対策を 15 陸の豊かさを保ち増進	
ゼオダスター GL	ゼオライト成分をポリエチレン樹脂にブレンドしたゴミ袋です。生活ゴミを焼却する際に排出される有害な排ガスを吸着・固定し、拡散を防止する機能を兼ね備えています。	13 気候変動に具体的な対策を 15 陸の豊かさを保ち増進	
バイオレフィン®30S プラスチック容器関連	バイオマス(植物) 資源から製造されるバイオマス・プラスチックは、再生可能な資源から生産できるプラスチックとして注目されています。また、焼却時に発生する二酸化炭素は、もともとは植物等が大気中から吸収したものであるため、新たに二酸化炭素を増加させません(カーボンニュートラル)。そのため、バイオマス・プラスチックは環境に優しい素材と言えます。	13 気候変動に具体的な対策を 15 陸の豊かさを保ち増進	
ハーフクリアパック (AP・FL タイプ)	適切な森林管理や林産物のトレーサビリティが問われる現在、森林認証制度の必要性が高まっています。森林環境保全に対する取り組みを示すために、FSC森林認証を取得しました。FSC 認証マークが入りました。この FSC 認証マークは、製品に使われている原材料が責任を持って調達されたことを意味します。	13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを保ち増進	
'ポイッコ' すっきり君	この商品は、各家庭からの生活排水をキレイにすることで河川の水質汚染防止にも役立つ、台所の三角コーナー用と排水口用の水切りゴミ袋です。素材はリサイクル率54%まで高めた再生ペット樹脂繊維によって作られた環境にやさしいエコマーク認定商品です。	13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを保ち増進	
エコアームバッグ	植物由来プラスチック「ポリ乳酸」を10%使用しています。バイオマスマークは、植物由来プラスチック等のバイオマスを利用している製品に与えられるマークです。原材料はすべてポリオレフィン等衛生協会のPL(ポジティブリスト)に登録されているものを使用しています。	13 気候変動に具体的な対策を 15 陸の豊かさを保ち増進	

環境対応推奨商品 (SDGs)

紙製品

奨商品(SDGs)	商品特徴	SDGs目標	商品紹介
FSC 認証紙	適切に管理された森林から出荷される木材によってつくられた用紙を使用でき、環境や社会に配慮した製品。	13 気候変動に具体的な対策を 15 陸の豊かさを保ち増進	
植物油インキ	印刷インキは植物由来の原料を配合して、温室効果ガスの発生を低減しています。	12 つくばないで 13 気候変動に具体的な対策を 15 陸の豊かさを保ち増進	
カカオミックス紙	チョコレートを製造する際に生じる「カカオ豆の皮」を紙の原料に配合しています。紙の原料となる森林資源の節約につながる環境にやさしい紙です。	12 つくばないで 13 気候変動に具体的な対策を 15 陸の豊かさを保ち増進	
パームヤシックス	植物油のなかで世界一の生産量を誇るパーム油を製造した後に捨てられていた「ヤシカサ」をパルプ化し、紙の原料に配合しました。紙の原料である森林資源を節約できます。	12 つくばないで 13 気候変動に具体的な対策を 15 陸の豊かさを保ち増進	

目次

環境対応の歩み

オオキ SDGs 活動

エコアクション21

SDGs 活動宣言

社員が進める SDGs

包装資材と SDGs

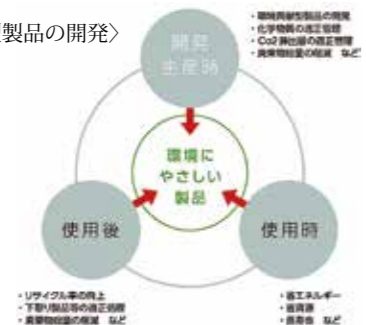
社会生活と SDGs

環境対応推奨商品 (SDGs)

機械類

奨商品(SDGs)	商品特徴	SDGs目標	商品紹介
台紙レスラベル	今までの“台紙あり”のラベルに比べ、排出されるゴミの量の軽減。また、印字する情報量に応じた各サイズのラベルを必要とせず、フォーマットデータの変更でラベルピッチのサイズ変更可能となり、ラベルサイズを決める事が出来る。 サイズ/大巻 60mm幅×310m巻き 小巻 60mm幅×60m巻き	12 持続可能な消費生活 13 気候変動に具体的な対策を 15 陸の豊かさを守ろう	「やすいUDフォント」 よな ID FONT by MORISAWA 理とデザイン性も兼ねたUDフォントを開発
NTP - UNI (ノントレー包装機)	従来の様なトレー+ラップでの自動包装ではなく、フィルムのみを利用した包装機。包装物の省スペース化、プラ利用量の削減により Co2削減に繋がる包装機。商品を盛り付けたフィルムをそのまま移動させて、やさしく包むように包装します。そのため、盛り付けの崩れを最小限にし、美しい盛り付けのまま包装が可能。加えて機器に食品が接触しないので、どちらも清潔で衛生的。	8 経済成長を促進 9 産業とインフラの高度化 13 気候変動に具体的な対策を 15 陸の豊かさを守ろう	
コンピュータスケール各種 ※計量する商品によってさまざまな計量器ラインナップより機器の選定を行う。	袋詰めする前の商品を数個ずつ分散し複数の計量器でそれぞれ計量し、重量組み合わせるの計算を行い、設定重量に最も近い組み合わせを選び袋詰めする仕組み。生産設備を自動化・省人化して、生産性を向上してコストを減らす事の実現が可能な機器。最高 0.5g~ 1.0gの計量精度による高精度計量を最大 210回/分高速稼働させる事が可能で自動化・省人化とコスト削減に大いに貢献。	2 気候変動 12 持続可能な消費生活	ミックス計量タイプ 組み合わせ計量機 ※計量精度による組み合わせ
自動計量値付包装機各種 ※計量する商品によってさまざまな計量器ラインナップより機器の選定を行う。	トレー包装を手作業で行うと、計量、包装、ラベル印字と貼付の 3つの工程それぞれの手間と時間が掛かるが、自動計量値付包装機は 3つの作業工程を 1台で自動化。MAX35パック/分の包装が可能で、生産に瞬発力を発揮。さらに、計量皿にトレーを置くと同時にカメラでトレーの形状を確認し、通常の発泡トレーや、軟弱トレー、変形トレー、野菜のノントレー包装など、色々な形状の商品をスピーディーに且つ資材のムダなく包める包装機。	8 経済成長を促進 9 産業とインフラの高度化 12 持続可能な消費生活 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう	

〈環境貢献型製品の開発〉



〈廃棄物の削減活動〉



環境対応推奨商品 (SDGs)

ラベル

奨商品(SDGs)	商品特徴	SDGs目標	商品紹介
ペーパーアテンション	フィルム素材で作られていたアテンションPOPを”紙素材”にリプレイスした製品です。紙素材でありながら、フィルム素材と同様に透け感があるのが最大の特徴です。プラスチック製品の過剰利用を抑えます。	12 持続可能な消費生活 13 気候変動に具体的な対策を 15 陸の豊かさを守ろう	
クリアペーパーシール	透明フィルムが紙素材で代替できるようになりました。透明シールを紙に置き換えることで環境負荷の低減に繋がります。被着体のデザインを邪魔せずに貼ることができます。また、手で切れるので、封緘シールでも容易に開封ができます。	12 持続可能な消費生活 13 気候変動に具体的な対策を 15 陸の豊かさを守ろう	
セパレスラベル	台紙(セパレーター)を使わないため廃棄物の量を削減できます。また、同じ直径の1巻でも台紙付きラベルに比べて、およそ1.5倍のラベルを巻くことができるので環境に配慮したシール・ラベルとなっています。	12 持続可能な消費生活 13 気候変動に具体的な対策を 15 陸の豊かさを守ろう	
薄層ラベル	表面紙と台紙(セパレーター)を薄くすることで廃棄物の量を削減できます。同じ枚数のラベルでも重量が軽くなるため、運送時の排気ガスも減らすことができます。	12 持続可能な消費生活 13 気候変動に具体的な対策を 15 陸の豊かさを守ろう	
デジタル印刷	デジタル印刷は印刷版を作成せず、印刷ロスもないため廃棄物を減らすことができます。水をベースとする水性インキを使用することで VOC、Co2の排出量削減も実現しています。	12 持続可能な消費生活 13 気候変動に具体的な対策を 15 陸の豊かさを守ろう	

奨商品 (SDGs)	商品特徴	SDGs目標	商品紹介
ヤシノミ洗剤	<p>ヤシノミ洗剤 香料・色素無添加の天然ヤシの実からつくった植物性中性洗剤です。 手肌にも環境にも配慮した洗剤です。 各製品の売上げの1%が、ボルネオ保全トラスト (BCT) を通じてボルネオ島の環境保全に使われます。</p>		
アラウシリーズ	<p>アラウシリーズは石油系合成界面活性剤を一切使用せず、植物うまれの純せっけん成分をつかっています。安全性や肌へのやさしさにこだわり、合成着色料で着色したり、合成香料を加えて原料臭をマスキングしていません。ハンドソープ・洗濯用・食器用などがあります。</p> <p>アラウ製品の売上の一部で、世界約120ヶ国以上で活動する民間の国連援助団体 (NGO) 「セーブ・ザ・チルドレン」を通じて、教育、保護衛生、紛争や被害の緊急援助活動をサポートしています。</p>		

Plastics

プラスチックは、非常に便利な素材です。成形しやすく、軽くて丈夫で密閉性も高いため、製品の軽量化や食品ロスの削減など、あらゆる分野で私たちの生活に貢献しています。一方で、廃棄物・資源制約、海洋プラスチックごみ問題、地球温暖化などの課題もあります。私たちは、プラスチックの過剰な使用を抑制し、賢く利用していく必要があります。
出典：METI / 経済産業省

包装資材の有用性

身近に使われているプラスチック食品容器は、スーパーマーケットや食品流通にかかせません！販売を促進する商品の魅力を視覚的に伝えています。



1
食品を守る
ガードマン

保護だけでなく品質・鮮度を保持します！

フタやラップで雑菌をガード



生鮮食品の鮮度をキープ



傷みやすい食品をやさしくガード



保護だけでなく品質・鮮度を保持します！



2
流通を支える
ヘルパー

さまざまな工夫で流通・販売を支えています！

安心して運べるので効率よく輸送



つぶれにくい構造で積み重ねも安心



仕切り付きなら詰めるのも簡単



さまざまな工夫で流通・販売を支えています！



3
情報を伝える
セールスマン

詳細な商品情報や美味しさを伝えています！

内容量・価格・賞味期限等を表示



商品を引き立てて美味しさを演出



詳細な商品情報や美味しさを伝えています！

社会生活とSDGs

「持続可能な社会のため、従来の生活を見直します」
SDGsの目標を理解し、全社員で取り組む。



オオキの活動紹介

守る会のケーキ	33
エコアクション21	34
社内ゴミの分別	35
食品トレー回収で環境型リサイクル	36
防災訓練	37
環境対応商品の販売	38
HACCP の情報発信とサポート	39
職場体験	40
障害者就労支援施設への梱包、箱折等の 内職依頼による雇用の創出	41
フードバンク山梨への協賛、寄付による 貧困支援、食品廃棄の減少	42

社会生活と SDGs

守る会のケーキ



毎年クリスマスに、山梨県重症心身障害児（者）を守る会を通じて、
重症心身障害者の方々へクリスマスケーキのプレゼントを行っている。

この福祉事業をオオキとして始めたのは 1972 年。

今年で 50 年になる。

活動の始まり～現在

初めは、元小林相談役が個人でケーキをプレゼントしていた。身近に身障者がいたことで関心を持ち、多くの身障者がいることを知る中で何かできることはないかと考えた時に、おいしいケーキを食べてもらいたいとプレゼントすることを思いついた。当時は、ケーキを食べることが当たり前ではなかったため大変喜んで頂けた。当時はバターケーキだった。



この活動を5年続けていた時に前大木会長に相談する機会があり、会社でも協力しよう!と決まり、多くのケーキをプレゼントすることができるようになった。

ケーキを食べた方々から毎年お礼の手紙が届きます。喜んで頂けている内容を見ると、この活動を続けてきて良かった、これからも続けていきたいと、こちらが喜ぶや力をもらっている。



活動の発展 For the next

何十年も続けているこの活動は、とても大切な社会活動になっている。しかし、ケーキの購入、配達に関わるメンバー以外にどんな活動なのかなんとなくしかわからないため、より以上この内容を共有したい。

その上で同じように続けていくだけでなく、ケーキの数、渡し方（サンタの恰好?）、クリスマス以外での交流や関わり合いができないか、必要とされることがないか、守る会側に伺い、今必要な社会活動に発展させていくことを考えていいのではないかと。コロナ禍であるため、今年は施設へ積極的に訪問することはできませんが、50年のその先をオオキの皆で考えたい。



- お礼の手紙は、頂いたすべてを貼り出す。
ある期間社内掲示でより身近に
- ケーキの数、渡し方、クリスマスケーキ以外での
関わりの検討と決定



エコアクション21



株式会社オオキは、会社の発展と環境保全の相互追及を基本理念とし、社員一人ひとりが常に環境のあり方に目を向け、環境との調和を目指します。

活動の始まり～現在

2006年包装資材は最終的にゴミになるという既存概念を改めて、環境対応と環境保全のための環境負荷削減のための旗印としてOEV企画室を立ち上げた。更に2007年に於いてエコアクション21の認証制度とご縁を頂きエコアクション21の取得に至った。

OEV企画室では環境対応情報に特化していたが、エコアクション21の活動方針としてCo2削減を行動基準として社内の具体的数値管理項目を選定し、評価をしていく指針に変更した。

併せて、環境保全の相互追及を基本理念とし、社員一人一人が常に環境の在り方に目を向け、環境との調和を目指すことを環境方針の基本理念とした。



活動の発展 For the next

エコアクション21のメンバーは活動の要求事項であるCo2の削減・廃棄物排出量の削減・水使用量の削減において、目標数値管理と共に従業員に対する削減活動の徹底・意識の高揚に努力する。

- SDGs合同会議に参加して包装資材の在り方を研究し最終的には「オオキの未来志向」に繋げていく



社内ゴミの分別



社内より排出されるゴミの分別を行っている
(段ボール・プラ・紙・シュレッダー・一般・カタログ・封筒・ペットボトル・缶・ビンなど)
カタログや封筒類は流通センターで回収しリサイクルへ、段ボールや緩衝材は再利用し荷物の梱包、配送用に有効活用している。

活動の始まり～現在

燃えるゴミとして一括で廃棄していた社内ゴミを、環境問題の高まりから分別を実施エコアクション21の認証取得を機に、廃棄重量の計測を行うなど、個々の分別意識を高める活動となっている。分別することで、資源として再利用できることがわかり、結果ゴミの量を減らすことにつながっている。

プラ・紙・シュレッダー・一般に分別しているが、ゴミ収集車でひとまとめに回収、廃棄になっている現状がある。

活動の発展 For the next

SDGsを考え、より環境問題に対してアプローチしたゴミの分別を徹底し、リサイクルを促進したい。廃棄したゴミがどのように処理されているか知り、知ることでも排出抑制に繋げていきたい。

- メーカー等と協力した再資源化に再利用できるか……。



食品トレー回収で循環型リサイクル



Aコープ様店頭のリサイクルボックスで、食品トレーの回収を行いオオキ配送便にて障害者支援施設あさひワークホーム様へ届け再利用できるものを分別しています。

分別後、オオキ配送便でオオキに持ち帰り、さらにメーカー便が回収しリサイクル工場で再資源化され、エコトレーとして生まれ変わっています。その生まれ変わったエコトレーをAコープ様で商品化して販売し循環させています。

活動の始まり～現在

環境問題につながるプラスチック容器を販売している企業として、リサイクル等様々な手段で環境に配慮した取り組みを行う社会的責任がある。この取り組みは、お客様、仕入先様と協力することにより、リサイクルの推進でゴミを減らし、新しく作るトレーに比べ、Co2を30%削減できています。

また、トレーのリサイクルを通じて地域住民の環境意識を高め、資源循環の促進につながっており障害者支援施設での作業により雇用を創出する福祉事業として、企業の社会活動の一つになっています。

現在、Aコープ様の容器をすべてエコトレーに切り替えております。売り場等にCo2削減などのポスターやCo2削減の実数を貼り出しながら取り組みを一層進めています。



活動の発展 For the next

JA様の情報紙にこの取り組みを掲載し、南アルプス市民に周知できるようにしていきたい。

この取り組みをモデルに、他のスーパーへ展開していきたい。

社内での認知を広め、できれば障害者施設に支払う金額を増やせるような取り組みを考えたい。



- SDGs合同会議に参加して包装資材の在り方を研究し最終的には「オオキの未来志向」に繋げていく



防災訓練



消火訓練や地震体験・救急訓練などを行っている。
(3回/年)

活動の始まり～現在

最初の目的はBCP（事業継続計画）として始まった。BCPとは、企業が自然災害、大火災、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画のこと。

元々「防火管理者」は専任がいたが、平成24年にBCPチームを立ち上げ防火防災委員会が設置された。防災訓練だけでなく、防災倉庫を設置し定期的に備蓄品のチェックを行っている。



活動の発展 For the next

いつ起こるか分からない災害や事故に向け、会社の周りだけではなく、日々の生活の「もしもの為」に知識や経験を生かしていく。



- 社員だけではなく家族を招いて防災訓練を実施する。
→会社の枠を超えて防災意識を高める
- 近隣の会社と一緒に防災訓練を実施する
→現実に震災が起こった場合は近隣の会社との協力が必要

環境対応商品の販売



■店頭にてレジ袋などの化成品をバイオマス商品に切り替えている。
また、バガス商品・エコバンブー・クラフト商品などの紹介・販売強化を行っている。
POP で環境配慮商品を一目で分かるようにしている。

■カーボンニュートラルへの取り組み

活動の始まり～現在

2019年5月の「プラスチック資源循環戦略」の制定を見据えた、環境対応商品への切替や積極的な情報発信がスタート。

まだまだ安価なプラスチック容器やレジ袋など従来商品の需要も多いが、POP や実際に商品を店頭で置くことで、包材資材店が考えている環境に対する取組みを周知している。

カーボンニュートラルへの取り組みとして、玄関入口の床材に「未利用木材」と「再生プラスチック」で作られたエス・ウッドを使用している。

エス・ウッドパネル 施工しました。

エス・ウッドのCo2 排出削減効果

エス・ウッドはCo2 排出削減効果について、第三者認証を取得しています。

エス・ウッドの主原料には、通常エネルギー源として燃やされていたリサイクル材を100%使用しています。デッキ材等として使い終わった後も燃やしたり捨てたりせず、何回でもエス・ウッドに再生できる環境への負荷が少ない製品です。エス・ウッドを作るのに新たに森の木を伐採したり、原油からプラスチックを作ることはありません。つまり、伐採・輸送に伴うCO2発生や原油採掘、精製に伴うCO2発生も削減できるといふこととなります。



未利用木材と再生プラスチックをバランスよく融合した地球環境に優しい再生木材(デッキ、ルーバーetc)



活動の発展 For the next

再生素材を活用していくためには、普段の生活で出るごみを分別しリサイクルする事が重要。
いつも使っている容器や店頭に並んでいる商品の原料表示にも関心をもち、流通している製品について知ることから始める。



●社内の備品についても環境対応商品に切り替えていく
(例 封筒を FSC 森林認証紙へ)



HACCP の情報発信とサポート



2021年6月1日の HACCP 義務化に向け、得意先宛に【モノづくり応援誌】を毎月発行し、HACCP 導入に向けた情報発信やアドバイス、事例紹介などを行っている。
(2019年7月～2021年6月まで)

活動の始まり～現在

2021年6月の食品衛生法の改正に向け、お客様が安心して”モノづくり”に専念できるよう、プロジェクトチーム(4(フォー)エントランシーズ)を立ち上げ、HACCP、食品表示、環境プラスチック、食品衛生法に特化した情報を【モノづくり応援誌】として発信。

(2019年7月～2021年6月まで合計23部)
その中で HACCP に関わるレモンズは、1989年7月、【クリーン&フレッシュ・レモンズ】として国母西団地に開設。お客様が清潔な環境で食品を作り、そして販売するためのお手伝いが当初の目的。

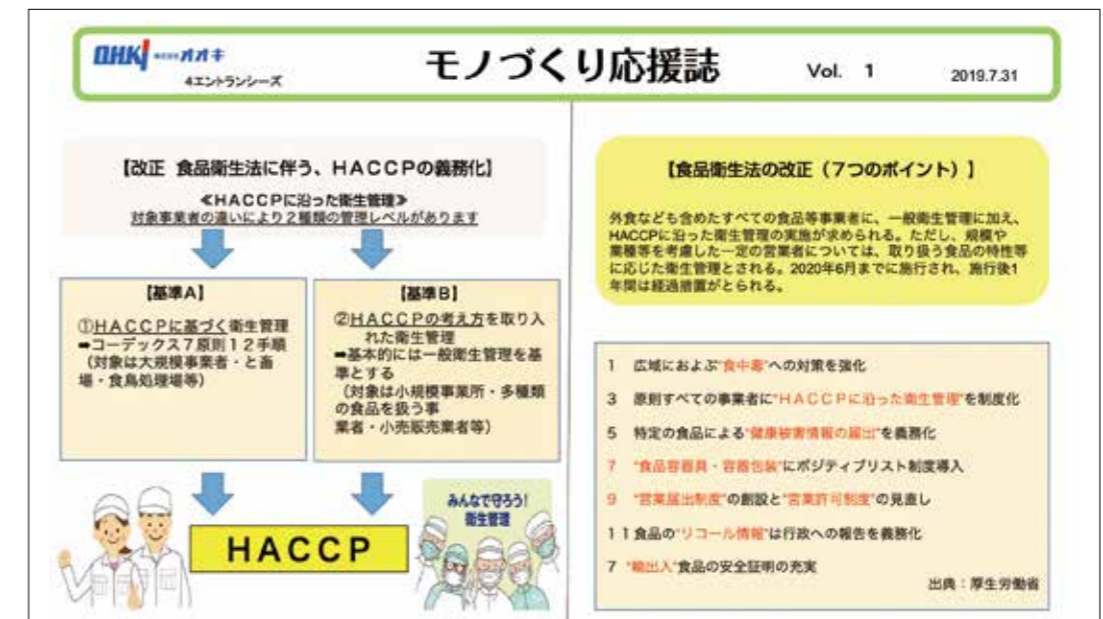
現在は、手洗い石鹸や消毒用アルコール、マスクや手袋といった衛生資材の販売だけでなく、HACCP 導入に向けたアドバイスや、お客様毎に異なる衛生備品の紹介を行っている。
コロナ禍では改めてレモンズの商品調達力が求められている。

活動の発展 For the next

レモンズを中心に HACCP への理解を深めることで、入荷→製造→出荷の流れについて、お客様と話ができるようになる。



- お客様の製造の流れがわかると、荷受けや製造ライン、保管場所など、それぞれの現場での困りごとを見つけ、解決の提案ができるようになる。
- オオキから困りごとの解決が図れると、他社との差別化につながる。



職場体験



年に1度地元の小学生へ職場体験を行っている

活動の始まり～現在

始まりは学校からの要請に応える形でスタートした。当初はSRや倉庫を見学するだけだったが、現在では社員と一緒に廻り、商品を見ながら分かりやすく説明している。

社内会議室では包装資材の役割やリサイクルの大切さを伝えている。

活動の発展 For the next



● 地元こんな企業、商品、働き方、思い、SDGsの取組がある事を知ってもらい。

将来の働くことに対するイメージや視野を広げるきっかけを作っていきたい。



障害者就労支援施設への梱包、箱折等の内職依頼による雇用の創出



障害者就労支援施設に箱詰や箱折り、段ボール組立て作業等を依頼し地域貢献を行っている。

弊社の内職依頼先が減少し依頼先がないため相互扶助の関係になっている。

活動の始まり～現在

小幡マネージャーの取引先である障害者就労支援施設で内職作業を求めている話を伺い、対応可能な作業を打合せ、箱詰め作業を依頼している。(2021年) レモンズ島田さんがWowTalkに障害者就労支援施設に作業を依頼することで地域貢献につながると情報発信し、施設を紹介。箱折り作業を依頼している。(2021年) 津野さんが北巨摩の障害者就労支援施設で段ボール組み立てを依頼している(2021年) 障害者支援施設あさひワークホームにトレーの分別作業を依頼している(1995年～現在)



活動の発展 For the next



● 季節品やスポットが多いので、1年を通じた仕事の創出を考える。

● 赤飯パック作業(通年) / 月の雫箱折(7～11月)作業ができる施設をまとめて、仕事がある場合にお客様とマッチングさせる。



フードバンク山梨への協賛、寄付による貧困支援、食品廃棄の減少



フードバンク山梨の活動に共感し、社内に支援を呼びかけ
食品の寄付を行っている。

活動の始まり～現在

会社に支援の依頼があり支援を行う中で、2019年7月よりオオキ福利厚生委員の活動として、社内に食品の寄付を呼びかけ、給食がなく支援がより必要になる7月に食品の寄付を行っている。
この活動は、貧困や飢餓をなくすことだけでなく、食品ロス削減、ゴミ処理量の削減、気候変動など環境負荷の軽減にも繋がっている。

活動の発展 For the next

●現状のほぼ夏休み前だけの活動では規模が小さいと考えられるため、回数や量を増やすことが必要だと感じる。そのため、寄付の現状を認識し、社内への広報を継続するとともに、社外連携などできる活動を広げること考える。



経営者による見直し 次年度につながる活動（テーマ）



残念ながら我々の販売している包装資材は、使用したらすぐゴミになってしまう。その使用後すぐにゴミになってしまうモノを販売している我々が、環境問題に取り組む事は責務と考えております。

包装資材業として、環境対応の必然性について15年前に社内に開設した環境対応室が発刊した環境に関する情報誌やエコアクション21の認証取得での活動結果と、2020年より取り組んでまいりましたSDGs活動をこのレポートにまとめました。

企業として、また社員一人一人やその家族が環境問題だけでなく、我々の住んでいる地球の為にできる事を考え、行動することが持続可能な社会につながっていくと考えております。

これからも株式会社オオキは、広く、時には深く環境問題と共に社会課題の解決に取り組んで参りますので、お客様をはじめ、ご関係いただいております多くの方にご指導ご鞭撻をお願い申し上げ、CSRレポート発刊のご挨拶とさせていただきます。
ありがとうございました。

株式会社オオキ 代表取締役社長 大木賢太郎

SDGs 推進隊

統括	大木 賢太郎
リーダー	小幡 光市
メンバー	笠井 年勝
	中島 大輔
	秋山 佳己
	村上 祐介
	渡邊 宣文
	功刀 公人
	熊野 秀樹



エコアクション21

統括	大木 勝志
リーダー	嶺村 忠彦
副リーダー	望月 晴人
メンバー	安藤 裕一
	矢崎 潤
	一條 卓
アドバイザー	野澤 誠



ものづくりの入り口から出口まで



持続可能な未来の山梨へ。
オオキはSDGsに取り組んでいます。



ホームページに掲載
されています

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



株式会社オオキ

〒409-3845 山梨県中央市山之神通団地1丁目3番2号



この印刷紙には、山梨の
森林認証材が活用され
ています。

OHKI CSR Report 2021